

こども園における自己評価結果報告

こども園における自己評価の結果がまとまりましたので、ご報告いたします。
自己評価の結果を踏まえ、今後の教育・保育の質の向上並びにこども園運営の資質向上に努めて参ります。

A:たいへんよい
B:よい
C:一部検討を要する
D:改善を要する

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
教育・保育理念	(1) 理念や基本方針が職員に周知されているか	○				<p>・全職員が園の理念等を理解し、教育・保育を行ったことや園だよりや情報誌などで発信したことで、周知が図られた。特に、異年齢保育の様子を以上児保育参加で、保護者に見て頂いたことで理解されることも大きかったのではないかと考える。今後も、職員の理解はもちろんのこと、利用者へも理解して頂けるよう、効果的な様々な発信の方法を考えていく。</p> <p>・子どもの人格の尊重や不適切保育の防止等については、園内研修で話し合ったり、情報の冊子を全員回覧したりして、周知を図った。また、子どもの人格、プライバシーを守る為、プールの着替え場所に遮光ネットを設置したり、身体計測では、マットで囲ったり、おむつ交換時など配慮している。</p>
	(2) 理念や基本方針が利用者に周知されているか		○			
	(3) 理念や基本方針に基づいた教育保育が行なわれているか		○			
	(4) 一人一人の子どもの人格を尊重した教育保育について共通の理解をもっているか（不適切な保育の防止についての理解）	○				
教育保育の計画	(1) 社会状況や子どもの実態、地域性を考慮し、必要に応じて教育保育課程の見直しを行っているか（全体的な計画）		○			<p>・子ども一人一人の実態に合わせ、計画を見直し、環境構成を工夫している。保護者アンケートで、子どもの自主性・主体性を大切にしているかの項目では、大変満足とおおむね満足で100%という結果が現れた。これは、職員が大切にしていることでもあり、その思いが保育参加やクラスだよりで保護者に伝わったのではないと思う。</p> <p>今年度を振り返り、行事の精選を行い、来年度の行事計画を立てた。子どもの心身の成長を第一に考えたうえで、行事を行っていき、情報や願いをわかりやすく発信していきたい。</p>
	(2) 指導計画は、乳幼児の心身の発達を踏まえ、入園から修了までの長期的な視野を持って充実した生活が展開できるように配慮し作成されているか		○			
	(3) 子どもの生活が豊かになるように行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか		○			
子どもの発達援助	(1) 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間にて共有されているか	○				<p>・キッズビューに毎日、子どもの健康状態を記録し、感染症の発生等は業務連絡アプリや終礼、職員室の白板ボード等で共有している。健康面や発達面等で気になることがあれば、すぐに看護師等に相談する体制を整えている。</p> <p>・子どもが楽しく進んで食事ができるように、畑で野菜作りや季節にあった行事食、月に1回「から弁の日」(自宅から弁当箱を持ってきて、自分で給食を詰めて戸外等で食べる)や今年度からセレクト給食(メインのおかずやソース、果物などを選択し食べる)など工夫をしている。</p> <p>・今年度、以上児は、食事環境(ランチホール)の見直しを定期的に行った。トレイを使用し、一人一人が食べるタイミングや座席を自分で選んで、友だちと食事の時間を楽しめるようにしている。</p> <p>・子ども主体の活動となるように、職員間で話し合いを定期的に行っている。今年度は、以上児の異年齢グループを作り、交流の日を設けることで、関わりが増え互いに刺激し合える関係性となった。未満児クラスでも、他の年齢(クラス)と散歩や遊びでの交流を計画し、異年齢との交流を進めている。以上児の子どもから小さい子の部屋に行きたいと言い、遊びに行くなど、進んで関わりを持つ姿も多く見られている。</p>
	(2) 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるよう留意しているか		○			
	(3) 子どもに相応しい食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	○				
	(4) 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか		○			
	(5) 子どもが主体的に活動できるような、人的・物的環境が整備されているか		○			
	(6) 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われているか		○			
	(7) 健康安全や発達の確保を十分に図り、日々の環境を整えているか		○			
	(8) 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、発達に必要な体験を積み重ねていけるよう努めているか		○			

項目	内容	評価				取り組み状況及び課題
		A	B	C	D	
	(9)子ども自身が自分を肯定する気持ちを育てていくよう、継続的な信頼関係が築かれているか		○			<p>・配慮の必要な子のみならず、その周りの子も含めて、子どもが安心して生活ができるように、終礼などを利用してクラスの様子を話し、職員間で共通理解して全職員で子ども達に関わっていきけるようにしている。また、保護者からの相談もあり、専門家と繋がることで、カンファレンスを行っている。</p> <p>・園児の小学校見学や交流、園の行事やおたよりを学校長に見てもらうことを通じて、小学校と連携している。保護者とは、就学に向けて気になることがあればいつでも話し合う機会を持ち、個人懇談も行き少しでも就学前の不安の解消や子ども理解に努めている。</p>
	(10)保護者の生活形態を反映した子どもの在園時間の長短、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた工夫が行われているか		○			
	(11)障がいのある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか		○			
	(12)小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか		○			
保護者に対する支援	(1)子どもの発達や教育保育などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けているか		○			<p>・懇談会の機会を年2回に増やし、保育参観や保育参加を2回行い、子ども主体の教育・保育を見て頂いた。特に、異年齢交流の主体的な活動は、アンケートでもあるように、高評価を頂き、理解して頂いた。保護者へわかりやすく伝えられている結果もみられた。この結果に満足せず、中海こども園が行っている教育・保育をこれからも保護者に発信していきたい。</p> <p>・虐待に対応できる体制として、支援機関、相談機関と連携している。</p> <p>・今年は、週に2回子育て広場を開くことができた。地域への情報誌も毎月発行し、広場の様子や手作りおもちゃの作り方などの情報を発信し紹介することができた。これからも、地域の子育て家庭の支援となるように努めていきたい。</p>
	(2)虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努めているか		○			
	(3)地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか		○			
教育保育を支える組織的基盤	(1)感染症やその他の疾病の発生予防に努め、看護師の専門性を活かした対応を図っているか	○				<p>・看護師の専門性を活かし、細やかな指導の下、保育者等や保護者と連携しながら感染予防対策を行っている。発熱等の体調不良時には、保護者の迎えを待つ間、保健室で看護師が対応している。</p> <p>・毎月の避難訓練では、様々な想定で時間帯も変えて行ってきた。先日の能登地震後、すぐに地震時の対策を改めて見直し、より実践的な話し合いを行うことができた。必要なことは、改善策を考え実践している。</p> <p>・年3回の自己評価やキャリアパスフレームによる評価はもちろん、必要に応じキャリアアップ研修や専門的な研修にも参加している。園内研修では、現状の保育で困っていることや質の向上等リアルタイムで行うことで、より実践的な話し合いとなっている。</p> <p>・苦情や要望等は、上司に報告・相談すぐに対応するように心がけている。話し合い等の必要があれば、守秘義務を遵守し、ミーティングルームなどの個室で対応している。</p> <p>・保護者が意見を言いやすいように、アンケートはすべて匿名でとっている。その為、様々な意見があり、検討を重ねている。また、日頃から職員ができるだけ玄関に出て何気ない会話をし、相談しやすい環境を整えている。</p> <p>・前年度の評価結果を考慮し、次年度の計画に取り込んでいる。職員会などで、課題についてはその都度明確にし、話し合いを行っている。</p>
	(2)体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し、適切な対応が行われているか	○				
	(3)避難訓練・安全点検・不審者侵入防止訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応が行われているか	○				
	(4)地震などの自然災害に対する防災対策は行われているか	○				
	(5)施設長がリーダーシップを発揮し、職員が教育保育の内容の充実と質の向上を図れるよう努めているか	○				
	(6)研修等、教育保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを積極的に行っているか		○			
	(7)事業計画が職員に周知されているか		○			
	(8)事業計画が利用者に周知されているか		○			
	(9)守秘義務の遵守が全職員に周知され、守られているか	○				
	(10)個人情報適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	○				
	(11)苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか		○			
	(12)保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか		○			
	(13)保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育保育の改善が図られているか		○			
	(14)評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施しているか		○			
施設関係者評価						